



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

本年度の方針

第五十五代会長 島田 秀 和



飯能ロータリークラブは昭和39年に創立され、本年55周年の節目の年を迎えました。歴代の会長・幹事が中心になって築かれた歴史と伝統は今も生き続けております。2018～2019の会長を拝命し、大変な責任の重さを感じておりますが、私も飯能らしさを引き継ぐべく、55期の役割を最優先に考えて一年間頑張っていきたいと考えております。

どうぞ皆様のご指導・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

<テーマ>

飯能ロータリーの未来に向け、基礎づくりの年

55期の役割として5年先の10年先のクラブを考え、新たな一步の年とする

<方針>

1. 伝統ある飯能ロータリークラブを学ぶ（クラブ奉仕5委員会・職業奉仕）
 - ① 伝統・歴史・創始の考えロータリーライフ等 会員卓話にて研修
 - ② クラブ奉仕5委員会が一体となって、クラブ戦略委員会を目指す
2. 新たな飯能ロータリークラブを考える（役員・財団・米山・地区出向）
 - ① クラブの方向性・事業を全会員で考える
 - ② 地区出向・セミナーに積極的に参加し 情報を共有する
3. 飯能ロータリアンを増やす（会員委員会）
 - ① 地区目標 会員の10%以上 増強6名
 - ② クラブバランスを考え 増強は急務
4. 飯能ロータリーの事業を見直す（社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕）
 - ① 継続事業を全体で話し合い 方向性を確定する
 - ② 地元の要望される事業を模索する
5. 飯能ロータリーを宣伝する（公共イメージ）
 - ① 会員も一般の方からも わかりやすいロータリーを目指す
 - ② 市内他奉仕団体との交流を持つ

任期を終えて

第五十四代会長 和泉 由起夫



2017 - 2018年度の会長を拝命して12ヶ月任期もまもなく閉じようとしていますが、ここまで漕ぎ着けて来られましたのはひとえに皆様方のご支援ご協力の賜物でございます。紙面をお借りして御礼と感謝を申し上げます。

とりわけ役員の方、常任委員会委員長、そして委員会委員長のみなさんには大変お世話になり、ありがとうございました。

また、今年度当クラブより国際ロータリー2570地区第3グループにおける木川ガバナー補佐を小川年度に擁立されました事、誠に意義深い事でございます。

IMを振り返り見ますと木川ガバナー補佐のご活躍、中里実行委員長を始め実行委員の威厳ある運営、ミーティングに花を添えて頂いた当クラブ選りすぐりのエンターテナーの皆さん、関係者の皆さんありがとうございました。

お陰様でIMも成功裏に開催する事ができました。まだ熱き余韻も残り地区の会合でもまだ話題にのぼるところでもあります。

今年度の国際ロータリー会長イアン・ライズリー氏の「ロータリー：変化をもたらす」というテーマに、国際ロータリー2570地区ガバナー細井保雄氏はそれを受けて国際ロータリーが示した3つの優先項目の「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」を基に地区運営に携わり、そこから湧き出た19の地区目標で理想的なクラブ作りを目指してこられました。当クラブではこれらを落としこんだ3つのリンクのサイクル

人道的に奉仕する事

世間にロータリーの良いイメージ作り

 それにより、

仲間が増える

 これを实践する為に18の行動目標を立ててやってきました。これらの進捗及び結果はいびつではありましたが、足りない所は次の会長さんに託して、まずは次年度の島田年度計画を全面的に応援して参りたいと思います。